

2022年の注目「腐生植物」



市内では初確認

ヒメノヤガラ (ラン科)

オノノヤガラより小さいことからこの名がついた。矢柄とは、矢の先と羽根の部分を除いた幹の部分。日本では、本州(岩手県以南)、四国、九州のやや明るい常緑広葉樹林の林床に自生する。花期は7~8月。

今年、最も注目した植物は腐生植物。

腐生植物とは、光合成する能力を持たず、必要な養分を根に持つ菌根菌を介して周りの菌類から得る植物のこと。

緑の葉を持たないその見た目からでしょうか。昔は、腐ったものから栄養を得ると考えられていたため腐生植物と呼ばれていましたが、最近では菌従属栄養植物(菌寄生植物)と呼ばれています。

腐生植物に寄生される菌類には、周りの樹木と互いが得た養分をやり取りする共生関係を結んでいるものや、落ち葉や枯れ枝から養分を得ているもの等があります。腐生植物は、こうした菌類が集めた森の栄養のおかげで成長できるのです。

驚きの生き方をしている腐生植物は、花期にしか地上に現れない種が多い上に、暗い森に同化する色の花であるため出会った時の感動はひとしおです。



シャクジョウソウ (ツツジ科)

山伏の持つ錫杖に似ることからこの名がついた。日本では、北海道から九州の山地のやや暗い林床に自生する。花期は6~8月。



タシロラン (ラン科)

田代善太郎が発見したことからこの名がついた。日本では、本州(関東地方南部以西)、四国、九州、沖縄の常緑樹林内に自生する。花期は6~7月。



市内では初確認

マルバノイチヤクソウ (ツツジ科)

葉が丸いことからこの名がついた。日本では、北海道から九州の山地帯の林内に自生する。花期は6~8月。

半腐生植物(部分的菌従属栄養植物)にも注目した2022年。半腐生植物とは、葉緑素を持ち、自身の光合成で補えない養分を、根に持つ菌根菌を介して周りの菌類から得る植物のこと。



2023年も

森の見えないつながりや豊かさを教えてくれる植物に注目です♪

第12期 森の子レンジャー活動報告

自然への探究心を持つ参加者と共に、作り育ててきたレンジャー活動も今年度で12期となりました。

田畑、川、森、里、空、先輩たちが作ってきたビオトープなど多様な環境を知り、そこに生きる個性豊かな動植物たちに出会った2022年。自然に学ぶ目と心を持って歩くと、先に進めないほどの発見で溢れていましたね♪

12月は「ビオトープ整備活動」を実施しました。自然に学んだことを自然にお返しする気持ちで、仲間とワイワイ協力して整備しました(^^)♪

レンジャーのみんな
自然のための活動に協力してくれてありがとう！

レンジャービオトープは準備完了！
春よ、早〜く来い♪



今年も無事終了！～市内小学生の自然体験学習～

今年度の小宮地区自然体験学習が無事に終わりました。

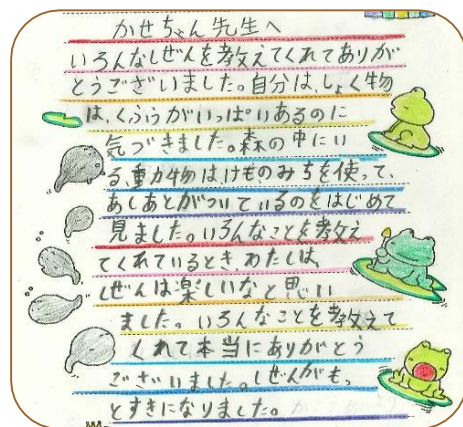
今年は天気にも恵まれ、全ての小学校が森歩き学習を実施することができました。

例年、学習を終えた小学生から、「虫や動物が大っ嫌いだったけど、ほんのちょっと好きになった」「生き物はこんなに面白いということを学べた」「自然がもっと好きになった」「昔の地域の人の暮らしを知って、すごいと思った」「自然はあきる野の宝だと思った」などの感想をいただくことがあります。

自然や郷土への理解を深める小宮地区自然体験学習は、生まれ育つ郷土に誇りを持つきっかけとなっている様です。

元気な皆さんの笑顔や真剣に話を聞いてくれる・話してくれる瞳を思い出しながらお手紙を読むと、嬉しいだけではなく学ぶことがたくさんあります。

お手紙をくださった皆さん、ありがとうございました！



参加者募集！

※募集は終了しました。
森林レンジャーツアー ～「けもの探偵になろう！」～



普段なかなか出会うことのないニホンジカ、タヌキ、ノウサギなどの“けもの”たち。あきる野の山には、どんなけものが暮らしているのでしょうか？冬の山を歩きながら、その証拠を探しましょう！
※状況によって内容等を変更して実施する場合があります。

日時：2023年1月28日(土) 8:45—12:45
対象：市内の小学3～6年生 10名
講師：加瀬澤恭子(かせちゃん)

※詳細は、広報12月15日号をご確認ください。